

## 輸血用血液製剤の需要予測調査（医療機関用）

### ご協力依頼

本調査は、医療を取り巻く環境の変化等を踏まえ、5年、10年後の輸血用血液製剤の需要予測を行うものです。今回、各都道府県の主要医療機関を対象にアンケート調査を実施することといたしました。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご理解のうえご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 対象施設の選定

各都道府県の製剤別供給量上位医療機関

### 記入要領

1. 本調査は、現在から5年後、10年後のわが国の血液製剤使用状況の予測を行うために実施するものです。
2. 設問は、回答者の属性、各血液製剤に関する事項、将来予測に影響を及ぼす要因等によって構成されています。
3. 貴院において血液製剤を多く使用している2診療科の責任医師の判断として記入してください。
4. 該当する選択肢に✓を付すか、数字をご記入ください。文章記述が必要な場合、文章を記入してください。

アンケート締め切りは、2017年5月19日（金）

医療機関名

赤血球製劑

貴院において、今後「赤血球製剤」の使用はどのように変化するとお考えですか。変化するとすれば、どの程度変化しますか。

| 今後の経過 | 5年後（2022年）             | 10年後（2027年）            |
|-------|------------------------|------------------------|
| 予想    | 1 □増加する（          %程度） | 1 □増加する（          %程度） |
|       | 2 □変わらない               | 2 □変わらない               |
|       | 3 □減少する（          %程度） | 3 □減少する（          %程度） |
|       | 4 □不明                  | 4 □不明                  |

下記は、血液製剤の今後 10 年までの将来の使用量に影響を与えると考えられる要因です。影響があると考えられる項目を選択してください。(複数選択可)

- ☐ 医療技術の進歩（外科的／内科的治療法の進歩）
- ☐ 血液製剤の適正使用の推進などの行政や院内の取り組み
- ☐ 医療制度（診療報酬、薬価の改定、在宅医療の推進等）
- ☐ 地域医療構想（病床機能の変化、医療資源の再配分）
- ☐ 人口構成の変化
- ☐ 疾病構造の変化（たとえば、輸血を必要とする疾患が減少する等）
- ☐ その他（ ）

上記回答とした理由

血漿製劑

貴院において、今後「血漿製剤」の使用はどのように変化するとお考えですか。変化するとすれば、どの程度変化しますか？

| 今後の経過 | 5 年後（2022 年）                                                      | 10 年後（2027 年）                                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 予想    | 1 □増加する（        %程度）<br>2 □変わらない<br>3 □減少する（        %程度）<br>4 □不明 | 1 □増加する（        %程度）<br>2 □変わらない<br>3 □減少する（        %程度）<br>4 □不明 |

下記は、血液製剤の今後 10 年までの将来の使用量に影響を与えると考えられる要因です。影響があると考えられる項目を選択してください。(複数選択可)

- ☐ 医療技術の進歩（外科的／内科的治療法の進歩）
- ☐ 血液製剤の適正使用の推進などの行政や院内の取り組み
- ☐ 医療制度（診療報酬、薬価の改定、在宅医療の推進等）
- ☐ 地域医療構想（病床機能の変化、医療資源の再配分）
- ☐ 人口構成の変化
- ☐ 疾病構造の変化（たとえば、輸血を必要とする疾患が減少する等）
- ☐ その他（ ）

上記回答とした理由

血小板製劑

貴院において、今後「血小板製剤」の使用はどのように変化するとお考えですか。変化するとすれば、どの程度変化しますか？

| 今後の経過 | 5 年後（2022 年）                                                          | 10 年後（2027 年）                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 予想    | 1 □増加する（          %程度）<br>2 □変わらない<br>3 □減少する（          %程度）<br>4 □不明 | 1 □増加する（          %程度）<br>2 □変わらない<br>3 □減少する（          %程度）<br>4 □不明 |

下記は、血液製剤の今後 10 年までの将来の使用量に影響を与えると考えられる要因です。影響があると考えられる項目を選択してください。(複数選択可)

- ☐ 医療技術の進歩（外科的／内科的治療法の進歩）
- ☐ 血液製剤の適正使用の推進などの行政や院内の取り組み
- ☐ 医療制度（診療報酬、薬価の改定、在宅医療の推進等）
- ☐ 地域医療構想（病床機能の変化、医療資源の再配分）
- ☐ 人口構成の変化
- ☐ 疾病構造の変化（たとえば、輸血を必要とする疾患が減少する等）
- ☐ その他（

上記回答とした理由